

調査事例紹介：その36

国道176号



豊中市立図書館には、毎日いろいろな調査の依頼が届きます。

そのうちの一部をご紹介します。

Q. 国道176号はいつ開通したのか？

A. 『広報とよなか』2001年12月号「ちょっと昔 み~つけた」に

「馬車が走っていた国道176号」という記事がある。

これによると「その能勢街道に沿って、のどかな田園地帯を貫くように国道176号が開通したのは昭和8年（1933）。市街地化が進む大阪市域と、住宅建設が進む豊中、池田などを結ぶ幹線道で、当時は産業道路と呼ばれていました。」「昭和28年には、『国道176号』に指定。」とある。

また『新修池田市史』第三巻p.539には、

「大阪市を中心として郊外に延びる十大放射線の計画は、大正十一年（1922）にさかのぼる。産業道路とよばれた府道大阪池田線（現国道一七六号）もそのなかの一つであり、重要路線として位置付けられていた。工事は昭和五年（一九三〇）頃に始まった。」「産業道路は昭和八年二月に豊中町までの舗装道路が一部を除いて完成した。その後、第二期工事として石橋に向けての工事が進められ、同年九月に阪急箕面線を跨ぐ高架道路が完成した。」とある。

この事例について詳しく知りたい方は、豊中市立図書館のサイトの「レファレンス事例をさがす」のページから、フリーワード「国道176号」で検索してみてください。